

宮崎くみあいチキンフーズ（株）に対し、 「DBJ健康経営（ヘルスマネジメント）格付」および 「地域元気プログラム」に基づく融資を実施 －宮崎県初の健康経営格付取得－

株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長：柳正憲、以下「DBJ」という。）は、宮崎くみあいチキンフーズ株式会社（本社：宮崎県宮崎市、代表取締役社長：川口 謙一、以下「当社」という。）に対し、「DBJ 健康経営（ヘルスマネジメント）格付」（以下「DBJ 健康格付」という。）および「地域元気プログラム」に基づく融資を実施しました。

「DBJ 健康格付」融資は、独自の評価システムにより、従業員への健康配慮の取り組みが優れた企業を評価・選定し、その評価に応じて融資条件を設定するという、「健康経営格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニューです。

また、「地域元気プログラム」は、地域ごとの強みや潜在力を活かした成長を後押しする DBJ 独自の取り組みです。南九州支店では、『南九州「食、健康、環境・エネルギー」先進地域化プロジェクト』をテーマに情報面・資金面でのサポートに取り組んでおり、南九州の「食」を代表する畜産業界に対しても、「畜産業界調査報告書～『畜産王国』南九州の成長戦略～」と題した調査・提言レポートを平成 26 年 5 月に発行するなど、さまざまな取り組みを行っています。

当社は、全農チキンフーズグループの食鳥生産処理加工を担う、宮崎県下最大規模の食鳥生産処理加工事業者です。今回の格付では、以下の点を高く評価しました。

- (1) 定期的な安全衛生パトロールの実施など、全社目線での安全衛生活動の実施に加え、外部の安全衛生コンサルタントを利用するなど、第三者の視点を活用しながら取り組みの高度化に努めている点
- (2) アルバイト・パートに加え、外国人留学生を含む全従業員に対しストレスチェックを実施したうえで、集団分析結果に基づき管理職向け研修を実施するなど、従業員のメンタルヘルス対策を強化している点
- (3) 従業員満足度調査の継続的な実施により従業員の声を把握するとともに、休暇を取得しやすい職場風土の醸成や従業員との対話を通じた職場環境改善を推進している点

その結果、当社は「従業員の健康配慮への取り組みが十分」という格付を取得しました。

News Release

また、本件融資は川南町の農業大学校跡地に輸出対象国の国際基準に対応した国内最大級の処理能力を持つ産地食肉センター施設の建設を対象に行うものであり、国際競争力強化や安定的な鶏肉の供給につながる模範的な取り組みとして「地域元気プログラム」の対象に認定し、融資を実施したものです。

DBJ は、企業理念「金融力で未来をデザインします～金融フロンティアの弛まぬ開拓を通じて、お客様及び社会の課題を解決し、日本と世界の持続的発展を実現します～」に基づき、健康経営や地域の成長に向けたお客様の取り組みを積極的に支援してまいります。

【お問い合わせ先】

南九州支店 業務課 電話番号 099-226-2666